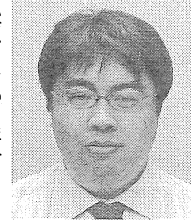


キャンパス

北大腫瘍病理学教室
は、道内有数の脳腫瘍
診断症例数を誇り、特
に遺伝子染色体検査が



必須となった新WHO
分類への対応や、術中
診断への迅速免疫染色
法への応用などで、道内
や全国の脳腫瘍病理診

北大 腫瘍病理学教室

断をリードしている。
自身も病理専門医・
指導医・細胞診専門医・
臨床検査専門医とし
て、教室で田中伸哉教
授とともに病理診断・
研究活動を支える一方
で、学生時代から得意
のコンピューターを生
かし、人工知能(AI)
の病理分野への応用に
取り組んでいる。
脳腫瘍は、頭蓋内と
いう閉鎖空間に生じ、

石田 雄介 助教

感染や炎症、挫滅など
の修飾を受けにくい。
さらに腫瘍細胞の形態
が診断の鍵となるな
ど、組織像解析に適し
ており、AIの学習に
は、教室に蓄積された
大量かつ良質の組織画
像や診断、遺伝子情報
を利用可能である。
学会でもAI分野の
発表が増加中で「さま
ざまな領域の病理診断
にAIを活用し、診断
精度や速度の向上に加
え、新技術から新たな
知見を得たい」と話す。

AIで脳腫瘍病理診断